



学校だより

やまゆり

2018年 1月号
平成30年1月9日
横浜市立大口台小学校

2018 大口台 新年を迎えて 校長 田川 齊史

新年明けまして、おめでとうございます

雲一つない真っ青な正月の空の下、近所の公園では（思い思いに自分で作った凧なのでしょう…）元気いっぱい何やら声を発しながら、子どもたちが凧揚げに興じていました。親御さんに糸を調節してもらっている子どもの姿に加えて、楽しげに走り回る子どもたちの姿は、兄弟や友達と凧揚げをして過ごした遠いお正月を思い出させてくれました。あの頃と同じように、この日は静かな空気の流れと「平和」を感じました。凧とした空気を頬に感じる、そんな寒さの厳しい中で平成30年は明けました。



穏やかな佳き年をご家族お揃いでお迎えできたことと存じます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年も本校教育活動へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

子どもたちが、夢やめあてに向かって取り組んでいるとき、その集団は動き、個は変容していくものです。夢やめあてが飾り物（絵に描いた餅）であったり、それに向かっていなかったりするときは、集団（個）は「停滞」、もしくは「後退」するしかないのです。

今年が戌年。従順で優しくってピュア（？）そんなイメージがありますが、やわらかな笑顔と確かな歩みで、子どもたちが、目標に向かって一步一步進んでくれることを願わずにはられません。

♠ 『奏』 校内音楽会 2017

11月29日（水）、体育館は子どもたちの歌声とリコーダーやたくさんの楽器の音色で、すてきな音楽ホールになりました。音楽があふれ、夢のような世界に…。



6年生；合唱「YELL」

♪サヨナラは悲しい言葉じゃない それぞれの夢へと僕を繋ぐ〜♪
卒業へのカウントダウン！そんな気持ちのこもった歌声でした

♪自分が歌ったり演奏したりして楽しむことも音楽

♪耳を澄ましてすばらしい演奏を聴いて楽しむことも音楽

♪音を楽しむと書いて音楽

世界どこへ行っても心が通い合える音楽を大切に、そして楽しんでほしいものです。

この日はすてきな青空。やさしい風がそーっと運動場を通り、暖かな日ざしが差し込んできました。合唱部、器楽クラブ、1年生から6年生、心を合わせた世界にひとつだけのすばらしいハーモニーが空高くまで響きました。そして、「かもめコーラス」のみなさんの歌も聴かせていただきましたし、盲特別支援学校のみなさんも聴きにいらしてくださいました。また、たくさんのご家族の方、地域のみなさんにご来校いただきました。ありがとうございました。お聴きいただく場所が限られていて申し訳ありませんでした。

12月25日には合唱部が大口通商店街で歌声を披露しました。

♥ 『想』 12月『人権週間』

12月4日（月）、人権週間初日の朝会に、盲特別支援学校と内校長先生に盲学校のこと、視覚障害の方との接し方などのお話をいただきました。

子ども一人ひとりの心の中にしっかりと「やさしい心とやさしい行動」の種をまいていただきました。

子どもたちを育て、支え、花咲かせ、実らせていく…。

この時だけのものにならないように…。



12月4日朝会で 盲特別支援学校 和内校長先生
盲学校のこと、視覚障害の方との接し方などのお話

学校教育目標 『わくわく トライ 大口台』

2018年も いいね！大口台